

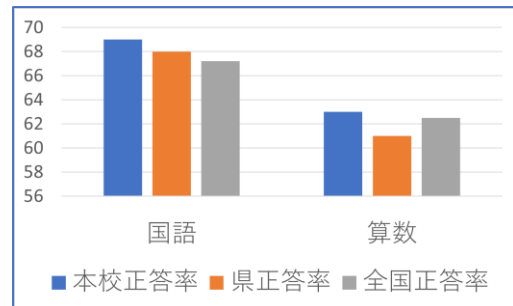
令和5年度全国学力・学習状況調査及び、 令和5年度佐賀県小学校学習状況調査の結果について

学力向上コーディネーター

1 結果

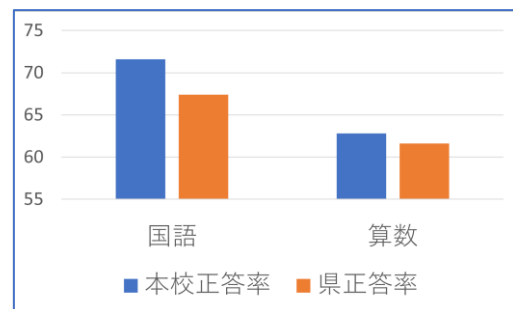
(1) 全国学力・学習状況調査（6年生）

	国語	算数
本校正答率	69	63
県正答率	68	61
全国正答率	67.2	62.5



(2) 佐賀県小学校学習状況調査（5年生）

	国語	算数
本校正答率	71.6	62.8
県正答率	67.4	61.6



2 分析

両調査において、全国正答率や県正答率を上回ることができています。

6年生は、国語科の「書くこと」、算数科の「数と計算」、「変化と関係」が全国正答率を上回っていました。また、顕著な課題は見られませんでした。

5年生は、国語科の「情報の扱い方に関する事項」、「書くこと」、算数科の「図形」が、県正答率を上回っていました。一方で、算数科の「知識・技能」に課題が見られます。

5・6年生に共通することとして、国語科の「話すこと・聞くこと」の設問において、全国調査（6年生）では全国平均を5.5ポイント、県調査（5年生）では県平均を2.7ポイント上回っていました。校内研究で取り組んできた「仲間とつながる対話活動の工夫」が奏功したと考えます。

3 今後の取組

- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた授業改善を行います。主体的に学習に臨み、自他の考えを深められる児童の育成を目指します。
- 1学期から、家庭学習習慣の定着に向けて、児童が自ら学んでいく姿勢が身に付くような宿題の在り方について探ってきました。2学期から拡充を図ります。
- 生活指導や特別支援教育の充実を図り、児童が安心して学べる環境づくりに努めます。

